



IIDA MUNICIPAL HOSPITAL NEWS

飯田市立病院

News

NO. **100**
2026.New year



「hinotori(ヒノトリ)」体験見学会

飯田市立病院では、導入された手術支援ロボット「hinotori(ヒノトリ)」を地域の皆さんに知っていただくため、高森ふるさと祭りで操作体験会を実施しました。

子どもたちが体験を通して、医療や科学技術への関心を深めました。

2p 年頭所感

3p 厚生労働大臣表彰受賞 金子名誉院長

「かかりつけ医」をもちましょう

4p ねっとわーく

医療法人 すみれ歯科・矯正クリニック

5p 話題の広場

クリスマスコンサートを開催しました
文書料改定のお知らせ

6p がん相談支援センターからのお知らせ

7p 手術支援ロボット

「hinotori(ヒノトリ)」を導入しました

8p 【新連載】臨床工学技士のキカイな話

患者さんの声

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さん中心の医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、介護、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上とともに、職員が誇りややりがいの持てる職場をつくります
- ⑤私たちは、公立病院として、よりよい医療を提供し続けるために、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意 をもって医療を実践します

年頭所感

飯田市立病院 院長 新宮 聖士

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆さまにおかれましては、健やかに新しい年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より飯田市立病院の医療活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜っておりますことに、職員一同、心から感謝申し上げます。

当院は、飯田下伊那地域の中核病院として、「地域の命と健康を守る」という使命のもと、急性期医療、救急医療、専門性の高い医療を担ってまいりました。昼夜を問わず救急患者さんを受け入れ、地域の医療機関では対応が難しい症例にも応えていくことは、当院に課せられた重要な役割です。一方で、少子高齢化や人口減少の進行、医療従事者の確保、物価やエネルギー価格の高騰など、医療を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。こうした状況の中だからこそ、私たちは改めて「地域にとって本当に必要とされる病院とは何か」を問い続け、歩みを止めることなく前進していかなければならないと考えています。

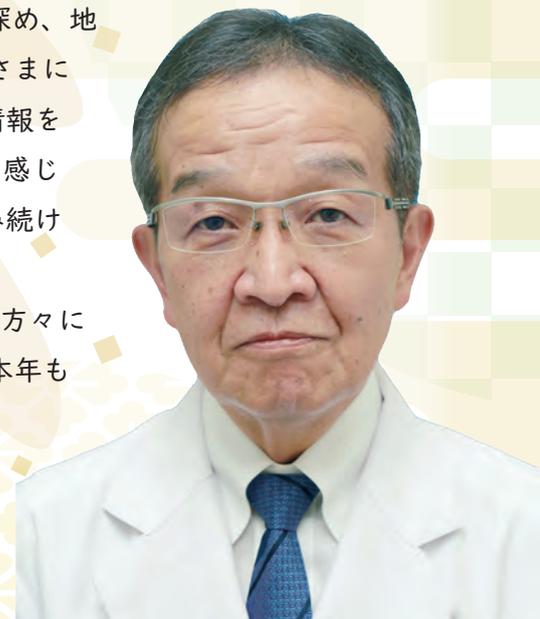
医療は、建物や設備が整っていれば成り立つものではありません。患者さん一人ひとりの思いに寄り添い、真摯に向き合う医師、看護師、薬剤師、医療技術職、事務職など、すべての職員の力が重なり合って、初めて信頼される医療が実現します。「この病院なら安心して任せられる」「ここで診てもらえて本当によかった」「ここで働きたい」— そう感じていただけることこそが、当院に対する信頼であり、いわば病院のブランドそのものだと考えています。

本年も、医療の質と安全のさらなる向上を最優先に、診療体制の充実に取り組んでまいります。とりわけ、地域に不可欠な救急医療体制の維持・強化、各診療科の専門性を生かした医療の推進に力を注いでいきます。また、将来にわたって安定した医療を提供し続けるためには、健全な経営基盤の確立が欠かせません。これは単なる数字の改善を目的としたものではなく、地域医療を守り、次の世代につなげていくための重要な取り組みです。

同時に、職員が安心して働ける職場環境づくりも、病院運営の大きな柱です。働き方改革や業務の効率化、風通しのよい職場づくりを進め、職員一人ひとりがやりがいと誇りを持って働ける病院を目指してまいります。職員が心身ともに元気であることが、結果として患者さんにより良い医療を届けることにつながると、私たちは信じています。

今年も、地域の医療機関や介護・福祉関係者、行政の皆さまと連携を深め、地域全体で患者さんを支える体制づくりを進めてまいります。本誌は、皆さまに支えられ、今号で第100回を迎えることができました。地域に寄り添う情報を発信し続けてきたこれまでの積み重ねが、今日につながっているものと感じております。これからも飯田市立病院、そして本誌は、地域とともに歩み続けてまいります。

結びに、本年が地域の皆さまにとって、そして当院に関わるすべての方々にとって、希望と安心に満ちた一年となることを心より願っております。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

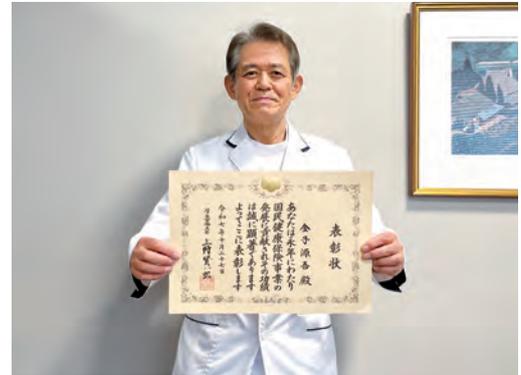


国民健康保険関係功績者 厚生労働大臣表彰

金子源吾名誉院長が受賞

本年度も厚生労働省より、国民健康保険事業への永年の功績を称える「令和7年度国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰」が実施され、金子源吾名誉院長がその栄誉に輝きました。

心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



金子 源吾 先生

平成23年1月から国民健康保険診療報酬審査委員に就任し、医療費適正化と国民健康保険の健全な運営と発展に寄与され、今日まで公正かつ適正な審査業務に尽力されました。

厚生労働大臣表彰を受けて

名誉院長 金子 源吾

平成23年1月故宮川信当時名誉院長の後を引き継ぎ、国保診療報酬審査委員になりました。以来、長野市の自治会館で毎月2日間の審査業務をしてきました。今回の受賞は皆様のご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。

「かかりつけ医」をもちましょう

かかりつけ医とは、なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介できる身近で頼りになる医師のことです。

国は、医療についても、介護・住まい・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現を目指していますが、その中心的な役割を担うかかりつけ医をもつように国民の皆さんに呼び掛けています。

頼りになるかかりつけ医がいれば、具合が悪くなった時などに、すぐ相談でき早めの対策がとれます。住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにも、身近なところでかかりつけ医を見つけてみましょう。

身近にいて
頼りになる

健康に関することを
何でも相談できる





登録医とは…

共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

医療法人

すみれ歯科・矯正クリニック

診療科目 一般歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科

理事長 木下 龍二郎

所在地 〒395-0157 飯田市大瀬木797-1

電話番号 0265-49-8280

往診 なし

駐車場 あり



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~13:00	○	○	○	休	○	○	休	休
14:30~18:00	○	○	○	休	○	△	休	休

△=14:30~17:00

【歯科医院紹介】

当院は平成26年9月に開院し、地域の皆さまの口腔機能をサポートするため診療を続けてまいりました。当院に来ていただいている患者様、当院で働いてくれるスタッフ、歯科材料店の方々、医院に関わる全ての方々に感謝申し上げます。

当院の特色として、虫歯、歯周病、入れ歯、予防といった一般的な歯科治療のみならずインプラント治療や矯正治療にも力を入れております。歯科の分野も新しい治療法、材料、機器などが日進月歩で出てきており、患者さんからの幅広いニーズに応えるべく院長はじめスタッフ一同日々アップデートに励んでいます。また当院には院内技工士が常勤しており、急な入れ歯の修理、かぶせものの細かい色合わせなど対応できる体制となっています。

飯田市立病院の先生方、スタッ

フの皆様には常日頃より、歯科医院からの紹介患者様の対応、周術期の患者様を紹介していただき大変お世話になっております。今後ますます医科歯科連携の重要性が高まると思われますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



木下理事長(右端)とスタッフの皆様

話題の 広場

クリスマスコンサートを開催しました



12月26日、飯田市立病院ボランティアの会のメンバーによるクリスマスコンサートが開かれました。

当日は3部構成で、研修医や職員有志による合唱、5階東病棟スタッフ有志による吹奏楽、医師による弦楽演奏が行われ、全6曲が披露されました。会場はやさしい音色に包まれ、来場された皆さまに、心温まるひとときとなりました。



文書料改定のお知らせ

当院では、各種診断書等の文書料金につきましては、長年にわたり価格維持に努めてまいりましたが、近隣医療機関の状況や業務実態を踏まえ、次のとおり改定させていただくことといたしました。

皆様にご負担をおかけすることになりますが、今後も安定して質の高い医療とサービスの向上に努めてまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【改定日】 令和7年11月1日受付分から

【改定後の料金】

文書名称・種類	新料金(税込)
診断書(当院様式)	3,300円
生命保険受領用診断書	11,000円
出産一時金又は 出産手当金に関する証明書	2,200円
死亡診断書・死体検案書	11,000円
臨床調査個人票	5,500円
身体障害診断書	11,000円
通院証明書	3,300円



※上記以外の文書料につきましては、書類の窓口へお問い合わせください。

がん相談支援センター からの お知らせ

治療を続ける中で、お仕事に関するお悩みはございませんか？
がん相談支援センターでは、就労に関する様々な相談に対応できるよう、
専門家の無料相談会や職場との連携を行っています。

【相談例①】

病気で仕事を退職することになりました。
退職後の経済面が心配です。
利用できる制度はありますか？



Aさん

↓

社会保険労務士による就労相談会をご案内



社会保険労務士

失業手当の手続き、傷病手当金の申請、状況によって障害年金の手続きが行えます。申請条件や手続き方法についてご案内します。

【相談例②】

治療の副作用で手足のしびれが続いています。
それでも働けますか？



Bさん

↓

ハローワーク就労支援ナビゲーターの
相談会をご案内



就労支援ナビゲーター

病状や身体状況にあった求人をお探しします。企業側にも調整を行います。

■社会保険労務士による就労相談会

開催日時：毎月第3水曜日 13：30～16：30 ※予約優先(空きがあれば当日でも可能)

場 所：130 がん診療・緩和ケアセンター内 面談室

失業手当、退職後の健康保険、年金制度など、仕事やお金について相談できます。

■ハローワーク松本「就労支援ナビゲーター」による就職支援相談会

開催日時：毎月第2木曜日 13：00～14：30 ※完全予約制

場 所：130 がん診療・緩和ケアセンター内 面談室

病状や治療状況に合わせたお仕事探しをお手伝いします。



■両立支援

勤務先と病院とで連携し、治療が継続できるよう一緒に考えさせていただきます。仕事を辞める前に一度ご相談ください。

※支援の詳細の流れは病院ホームページに掲載しています。

「受診のご案内」→「仕事と治療の両立支援」

ご相談のご予約・お問い合わせは… 飯田市立病院 がん相談支援センター

受付時間 平日 8:30～17:15 直通電話 0265-21-2010 FAX 0265-21-1236

メール gansoudan@imh.jp 場所 130 がん診療・緩和ケアセンター内

手術支援ロボット「hinotori(ヒノトリ)」を導入しました



Medicaroid Corporation
Copyright © Medicaroid Corporation All Rights Reserved. © Tevika Productions

飯田市立病院では、患者さんによりやさしく安全な手術を提供するため、手術支援ロボットを導入しました。手術支援ロボットは、ロボットが自動で手術を行うものではなく、執刀医が操作席からカメラや手術器具を動かして行う手術をサポートする医療機器です。県内では米国製の「ダヴィンチ」が普及していますが、当院では国産の「hinotori(ヒノトリ)」を県内で初めて導入しました。令和7年9月に導入し、その後約5か月間にわたりシミュレーターや実機によるトレーニングを行い、令和7年度冬季から運用開始しました。まずは消化器外科領域で使用し、その後、泌尿器科や呼吸器外科、産婦人科など、他の診療科へも拡大する予定です。

「hinotori(ヒノトリ)」のメリット

- 他機種より多い8軸の多関節アームを備え、複雑な進入角や高難度の手技においても精密な操作が可能
- コンパクトなオペレーションアームにより、助手の動線を確保しやすい
- 4K画質の3D映像により、血管や神経などの微細構造まで確認しやすい手術映像表示
- 日本製のため現場の声が反映されやすく、保守などへの柔軟な対応が可能



ロボットを使った手術のメリットとしては、従来の開腹手術や腹腔鏡手術^(※1)と比べ、低侵襲^(※2)で行えるとともに、精密な操作が可能点が挙げられます。開腹手術は切開が大きく、体への負担が大きくなりがちです。腹腔鏡手術は傷が小さい一方、器具の動きに制限があります。ロボットを用いた手術では、鮮明な立体映像で細かな血管などを確認しながら、人の手の関節可動域を超えた動きができる多関節アームを操作して手術を行います。これにより、緻密で出血を抑えた手術が行いやすくなり、合併症の軽減や回復の早期化、入院期間の短縮などが期待されます。

飯田市立病院では、今後も低侵襲な医療を目指し、安全で安心できる医療の提供に努めてまいります。

※1 腹腔鏡手術：おなかに小さな穴を開け、カメラと器具を入れて行う手術。

※2 低侵襲：体への負担が少ないこと。



臨床工学技士の キカイな話



みなさん、こんにちは。飯田市立病院・臨床工学科です。広報誌が100回目の発行を迎えるにあたり、新連載「臨床工学技士のキカイな話」を始めます。このタイトルの“キカイ”には、「機械」と「奇怪(不思議)」という二つの意味を込めています。

医療の現場には、とても「不思議」に感じられる動きをする「機械」が数多くあります。生命維持管理装置とも呼ばれる人工呼吸器や人工透析装置、人工心肺装置といった、文字通り患者さんの命を直接支える医療機器をはじめ、輸

液ポンプやパルスオキシメータ(酸素飽和度測定装置)、血圧計など、入院された際に一度は目にしたことがあるかもしれない比較的身近な医療機器も、治療や体調の観察に欠かせない存在です。

臨床工学技士は、あまり聞きなれない職種かもしれませんが、こうした医療機器を安全に使用できるよう点検や管理、操作を行い、救急や手術、病棟などさまざまな場面で医療を支えています。機械を通して命を守る専門職である私たちと、医療機器の“キカイな話”を、これから分かりやすくお伝えしていきます。



飯田市立病院 臨床工学科



患者さんの声



入院、手術、とても心配で不安でしたが、スタッフの皆さんがサポートしてくださり安心して入院生活を送ることが出来ました。食事もとてもおいしかったです。パンが選べる日があり、献立の工夫があって嬉しかったです。

入院してみて、病院は本当に様々な人が携わっていることを知りました。院内を清潔にして下さっているスタッフの皆さんの働く姿勢が見ていて気持ちよかったです。

担当医の先生には丁寧に診て下さりありがとうございました。しばらく通院します。よろしくお願ひします。皆様、本当にありがとうございました。



あ と が き

飯田市立病院ニュース第100号の発行となりました。第1号が発行された2001年頃から、日本人の健康に対する考え方は「病気になってからの治療」から「予防とセルフケア」へと変化してきました。セルフケアの基本は「自分のできる範囲で自分の面倒を見る」ことです。近頃はスマートフォンを使い、歩数や体重管理だけでなく食事管理(AIによる写真解析)、睡眠の質測定、メンタルヘルスアプリ(マインドフルネスなど)を利用する方も多いそうです。

(編集委員 今村絃子)



近くの「かかりつけ医」を持ちましょう。市立病院へ初診で受診される際には、かかりつけ医からの紹介状をお持ちください。